

DOCUMENT EYE

145

平成13年、交通事故死者数は8747人と、昭和56年以来、20年ぶりに9000人以下となったが、発生件数は94万7169件、負傷者数は118万9555人と過去最悪を更新した。また、死者数が減少に転じたにもかかわらず、大型貨物が第一当事者の死者数は前年比23.2%の増加を示している。発生件数においても大型貨物は24.1%と大幅に増えている

信号待ちの大型車両ドライバーの行動は？

WHY



観察地点 / 東京都世田谷区上用賀5丁目付近環状八号線交差点
 観察日 / 2月13日(水曜日)
 天候 / 快晴
 観察時間 / 11:30~12:30
 観察者 / 4名



(警察庁交通局データより)。こうした大型車両の事故状況が悪化している中、ドライバーの運転行動はどのようなものか。平日の都内の幹線道・交差点付近で、信号待ちの大型車両ドライバーの行動を観察した。

信号待ちの大型車両ドライバーの行動を観察する

大型車両ドライバー190名中喫煙21名、読書21名、携帯電話および無線使用15名

WATCHING

文庫本を読んだり、弁当を広げるドライバーも

観察場所は東京・世田谷区の環状八号線の交差点付近で、東名高速・用賀インターチェンジから1kmほどの地点。この日の環状八号線は内回りノロノロ状態で、外回りは比較的スムーズに流れていた。ここで、信号待ちをする大型車両ドライバーのシートベルト着用状況および行動を観察した。

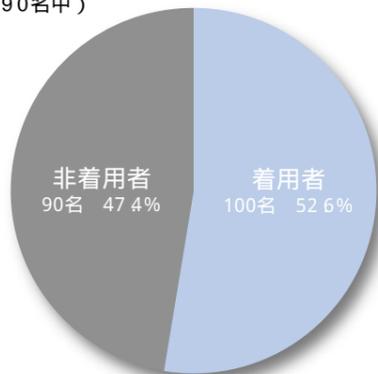
1時間の観察の結果、シートベルト着用者は計190名中100名(52.6%)、シートベルト非着用者が90名(47.4%)で、シートベルトの着用率は5割程度と予想以上に低かった。

信号待ちの大型車両ドライバーの行動は、「喫煙」が21名、「読書」が21名、「携帯電話および無線使用」が15名、「飲食」が4名、「その他」が8名だった。

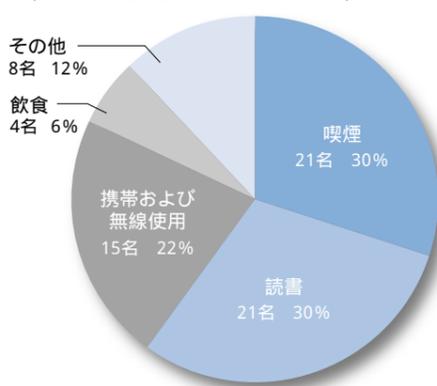
「携帯電話および無線使用」15名中、携帯電話の使用は14名で、顔を下に向けてメールのチェックを行っていたのが2名、通話中が12名だった。

「読書」の大半は信号待ちの間にマンガ本を広げている例だが、なかには文庫本

大型車両ドライバーのシートベルト着用状況(190名中)



信号待ちの大型車両ドライバーの行動(「ながら運転」をしていた69名中)



食べ物を片手に運転するドライバー

を読んでいるドライバーもいた。「飲食」では、信号待ちの間に弁当を広げるドライバーや、水筒の飲料を飲むドライバーも。「その他」では、探し物をしたり、髪をといたり、車内で軽くストレッチ運動を行なう者もいた。化粧紙で顔を拭く女性ドライバーや、テレビを見るドライバーも観察されている。

総じて車内は雑然としており、必要なモノが手の届く範囲に置いてあるなど個人の部屋のように感じた。信号待ちの間にタバコの吸いがらを投げ捨てたドライバーや、読書をしていたために、青信号で発進が大きく遅れたクルマをそれぞれ1名見かけた。

PROPOSE

プロドライバーとして自覚を持ち、安全運転の推進役になる運転手を

大型車両ドライバーの多くは、運転を「仕事」とするプロドライバーであるが、毎日のように運転し、車内で生活する時間が長いせいか、「ながら運転」をする傾向があるようだ。この観察でも、事故の原因となる脇見運転や信号待ちでの携帯電話の使用、読書をするドライバーがたくさん見られた。また、シートベルトを着用していないドライバーが多いのも気になった。

大型車両は一度事故を起こせば、悲惨な事故に発展しかねない。大型車両ドライバーは、運転のプロであることを自覚し、誇りをもって安全運転推進のリーダー役となるよう、交通ルールと運転マナーを守って、安全運転を行なってほしい。

月刊「ザ・セーフティジャパン」2001年分縮刷版発行!

日頃から「SJ」をご愛読いただきましてありがとうございます。本紙では交通安全教育に関わる様々な話題を取り上げ、充実した紙面づくりに努めています。

この本紙2001年分の縮刷版をご希望の方にお分けます。切手2000円分を同封の上、下記までお申し込みください。4月30日まで受け付けております。
 〒107-0062 東京都南青山3-4-7 第7SYビル6階
 (株)アストクリエティブ SJ 縮刷版係

ご希望の方にお分けます

